

南 無 御 書

堂塔つくり、布施ふせまいらせず、唯惜をしき物は命ばかりなり。これを法華經にまいらせんとをもう。三世の仏は皆凡夫にてをはせし時、命を法華經にまいらせて仏になり給ふ。此の故に一切の仏の始めは南無と申す。南無と申すは月氏の語、此の土にては歸命と申すなり。歸命と申すは天台釈して云はく「命を以て自ら歸す」等云云。命を法華經にまいらせて仏にはならせ給ふ。日蓮今度命を法華經にまいらせて